

見逃すな！ 救急医による‘突然’表れる 「こんな症状・サインに要注意」



川崎幸病院では、年間1万件に近い救急搬送を受け入れています。その多くは、「突然」症状が表れた患者さんたちです。今回は、救急の最前線に立つ川崎幸病院 救急部部长／臨床研修センター副センター長の高橋直樹医師に、突然表れる主な救急疾患について伺いました。



目の前の命を救いたい！「突然」「急に」 症状が出たら、迷わず救急車で受診を。

川崎幸病院 救急部部长／臨床研修センター副センター長
高橋 直樹医師

当ERは当院の理念である「断らない医療」を実践しています。「自分の大切な人に受診を勧められるERにしよう」というビジョンをスタッフ全員と共有し、患者さんに向き合い、病気による

苦しみから助けられるように全力を尽くしています。救急搬送される患者さんのうち、特に専門性が高い脳卒中や心疾患では、専門医も含めたチームで対応しています。

脳卒中に対して

脳卒中の中でも特に脳梗塞は時間との闘いです。発症から治療開始までの時間が早いほど改善する可能性が高くなります。当院では、脳神経外科医と救急医に加え、看護師、救急救命士、事務職員と全職員で役割分担し、1秒でも早く治療開始できるよう取り組んでいます。

心疾患に対して

救急医による診察の結果、緊急治療が必要な心疾患が強く疑われる場合、すぐに心臓の専門医と連携します。特に心筋梗塞の場合は心臓カテーテル治療が必要となりますので、医師、看護師、救急救命士で協力しながら迅速に対応して治療室まで送り、専門医にバトンタッチしています。

救急医療に必要な時間軸の考え方

- 突然**：症状が突然出た（発症時刻がはっきりしている）
- 急に**：症状が3日以内に出た
- 徐々に**：症状が数日前～数ヶ月前に出た

救急搬送を迷われる時は、症状の表れ方を「時間軸」で考えてみましょう。

「突然に」「急に」という場合は命に関わる病気の可能性があります。症状が「徐々に」進行す

る場合は、すぐに命に関わることは少ないので、今日慌てて救急受診しなくても良い場合がほとんどです。その場合は、まずはかかりつけ医に相談することをお勧めします。

命に関わるあるいは受診が遅れるとその後の生活に影響を残すような特に緊急性の高いものは、「突然」出てくる症状の時が多いです。「突然」とは、今まで何の症状もなかったものが、ある時を境に、はっきりした症状が出てきた時です。「突然」発症する病態として、何かが破れる、詰まる、裂ける、捻れる状況が考えられ、中でも血管がその状態に陥ると最も危険です。突然の激しい痛みで冷汗を伴う場合は、迷わず救急車を呼んでください。救急車を呼ぶかどうか迷った時は、「救急相談センター」に連絡してみるのも良いでしょう。当院に受診希望で救急車を迷う場合、お電話頂ければ、ERリーダーナース*が対応し、判断します。

*ERリーダーナース：救急医療の専門キャリアを持つ看護師

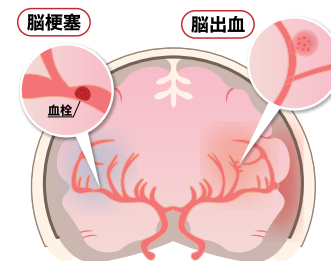
救急搬送とすべき全身の症状

救急搬送の対象となる症状を、各部位ごとにご説明します。

■ **頭** ■ 脳卒中は、血管が破れる脳出血と血管が詰まる脳梗塞に分けられます。脳出血は出血がじわじわ広がるため、時間の経過とともに状態が悪くなっていきます。

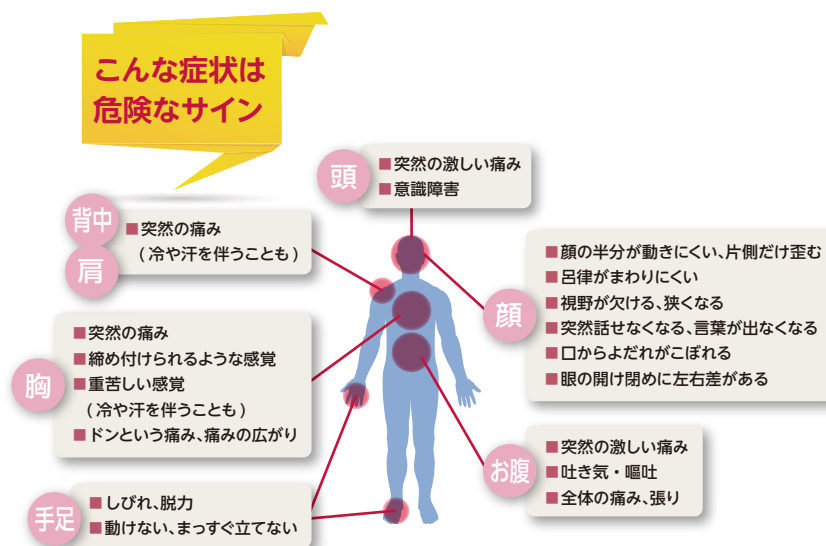
脳梗塞は一般的に、発症から4.5時間以内であれば血液の塊（血栓）を溶かす治療（rt-PA治療）の適応となる可能性があるため、次項でお話する症状が表れた場合には様子を見ず、なるべく早めに受診してください。また、脳梗塞は自然に血流が再開することがあります。例えば、明ら

かに右半身の動きが悪いが、受診を逃しているうちに動きが戻った場合、「一過性脳虚血発作（TIA）」の可能性があります。近く本当の脳梗塞が起こるかもしれないサインですので注意が必要です。



■ **顔** ■ 突然おしゃべりができなくなる、呂律がまわらない、言葉を発しようとしても出てこない（失語）、顔の片方が動かない（麻痺）、よだれが口からこぼれる、眼の開け閉めに左右差がみられるなどの症状は、脳卒中の可能性があり。言葉については、「ばたか」と繰り返して口に出せるか確認してみましょう。ぼ行・た行・か行は言葉を作る脳神経の場所が異なります。突然、それらのいずれかがうまく言えない時は、脳卒中が原因の構音障害かもしれませんので、早めに救急外来を受診しましょう。

■ **胸、背中** ■ 突然または急に、今までに経験したことのない痛みや違和感が出るのは、心筋梗塞や狭心症で表れる危険なサインです。肩やあご、のどにそれらを感じるといふ方もいます。また、



突然ドンと胸の痛みがあり、治らずに広がる場合は心臓にある大動脈という大きな血管が裂ける（破れる）時の症状です。命に関わる為、すぐに救急車を呼びましょう。

心臓の血管も自然に血流が再開することがあります。明らかに胸が締め付けられ冷汗をかいていたのに、数分後におさまった場合も、念のために受診をお勧めします。

背中に表れる症状としては、突然の痛みです。動いた時のみ痛みが増強する場合は、多くが筋骨格系の炎症が原因であり緊急性はありませんが、安静状態でも痛みが強く、動いても痛みが変わらない場合は、内臓の病（特に血管や尿管の詰まり、膵臓の病気）の可能性も考えられ、急を要する危険なサインの場合もあります。



■ お腹 ■ 突然の痛みに加えて冷汗を伴う場合は緊急を要する疾患のサインの可能性がります。特に、背中を丸めないと痛みが強く歩けない、ちょっとした振動で痛みが増強する場合は、「急性腹症」といって炎症が広がっている可能性があります。お腹にはたくさんの臓器があり、「急性腹症」の原因は様々です。血管が原因であれば「腸管膜動脈閉塞症」や大きい血管であれば「大動脈瘤破裂」や「大動脈解離」などがあります。また腸が原因であれば「虫垂炎（盲腸）」や「腸閉塞」、「消化管穿孔」、その他、卵巣や卵管、尿管などのトラブルでも起こり得ます。突然の冷汗を伴う痛みで歩けない場合は早めの受診をお勧めします。

■ 熱 ■ 発熱をきたす疾患は多岐に渡りますが、急な発熱の多くが感染症です。感染症には大きく

「ウイルス感染」と「細菌感染」があります。発熱だけでなく、鼻水、のど、咳、だるさ、など同時期に2つ以上の臓器に症状が出ている時は、「ウイルス感染」（いわゆる風邪）が原因のことが多く、焦らなくても良いでしょう。ほとんどのウイルスに特效薬はなく、多くの場合は自分の免疫で自然に治ります。ただし、ぐったりしている、意識が朦朧とするなどの場合は、すぐに受診しましょう。

一方、「細菌感染」の場合は、治療（抗生物質投与）をしないと悪化することがあります。特に糖尿病の方、免疫抑制剤を飲んでいる方は要注意です。発熱に加えてガタガタと震え（悪寒戦慄）、呼吸が速い、意識が朦朧としている場合は、命に関わる細菌感染（敗血症）に至っていることがありますので、すぐに受診し検査を受けましょう。

地域の皆さんが安心できる場として

当院ERは、満床を理由（病院の都合）に救急車の受け入れを断ることはありません。なぜなら地域の救急外来と考えているからです。救急外来を受診される患者さんの受診動機は多岐に渡りますが、多くの患者さんは病に対する苦しみや不安を抱え、何とかして欲しい一心で24時間救急外来を受診されます。患者さん一人ひとりが誰かの大切な家族であり尊い命です。

時間や理由を問わず、患者さんに寄り添い応え続け、必要に応じて専門診療科や専門施設へ繋ぐことが救急外来の役割であり存在価値、存在意義と考えています。病院の救急として、地域の救急として今後も地域のみなさんに安心して利用してもらえるERであり続けるべく、全スタッフが、よりスキルとチームワークを磨き、さらなる発展を目指します。進化し続けることが質の高いERを継続できると信じています。病院全体で一丸となって大切な人にも勧められるERを作っていきます。

新型コロナ後遺症外来のご案内

第二川崎幸クリニック、さいわい鶴見病院 <新型コロナ後遺症外来>

新型コロナウイルス感染後、様々な症状が長期間続き、悩まれている方を対象に専門外来を開設しております。



労症候群（主にウイルス感染後に起こる）の治療法の一つとして用いられてきました。今回の、新型コロナウイルス感染症の後遺症の一部も、ウイルス感染後疲労症候群であると考えられています。

また、他に異常が考えられる場合や、複数の診療科で対応した方が良い場合には、個々の患者さんの状態によって、検査や他科と連携して、必要な対応を行います。

漢方治療は、体調を整えるための治療が特徴です。病後の倦怠感などの体調不良、複数の症状で困っている、検査で異常はないが嫌な症状が続く、西洋医学の薬を飲んででも効かない、といった場合に効果が期待されます。

以前、漢方治療を受けたものの効果がみられなかった方も、御自身に合う薬が見つかるまで、治療を継続することをおすすめします。是非、御相談ください。

【診療対象】

新型コロナウイルス感染症と診断された方で、療養（隔離）終了後4週間経過しても何かしらの症状で悩まれている方

【症状例】

- 微熱 ●倦怠感 ●咳や呼吸の苦しさ
- 味覚嗅覚障害 ●食欲不振 ●不安感

【治療法】

漢方薬を中心とした治療を行っています。漢方薬は、これまでも筋痛性脳脊髄炎/慢性疲



【外来日/予約番号】

第二川崎幸クリニック

毎週火曜日/午後2:00～4:30
第1・3・5木曜日/午後2:00～4:40
予約専用電話/044-511-2112

*発熱が続く方は、1週間分（朝・晩）体温及び生活歴などの情報を診察時にお伝えください。
*WEBサイトに問診票を掲載しております。印刷しご記入の上、来院時にご持参頂けますとよりスムーズにご受診頂けます。



さいわい鶴見病院

毎週月曜日/午後
毎週木曜日/午前
外来予約番号/045-581-1417

さいわい鶴見病院「漢方外来」WEBサイト



※予約外来となりますので事前予約の上、時刻の30分前にご来院ください。

川崎幸クリニック <発熱外来>

新型コロナウイルス感染症が疑われる症状を対象とした、発熱外来を行っています。受診をご希望の方は、事前に必ず電話予約をお願い致します。

また川崎幸クリニックの一般外来では、新型

コロナウイルス感染症罹患後の診察を行っています。療養終了後も咳や呼吸苦が続く場合は呼吸器内科、味覚・嗅覚障害は耳鼻咽喉科、微熱や倦怠感が続く場合は内科等で診察を行っています。

【外来日/予約番号】

※予約外来となりますので事前予約の上、ご来院ください。

川崎幸クリニック電話予約受付時間

月～金/8:00～20:00

土曜日/8:00～17:00
日曜日/8:30～17:00
祝日/8:30～17:00
予約番号/044-511-2112

WEBサイト



新しい「さいわい鶴見病院」が誕生します。



さいわい鶴見病院が2025年(予定)に
病床60床を増床し、120床の新しい病院に生まれ変わります。

現在の病院の場所に入院棟(6階建て)、現在の駐車場に外来棟(6階建て)が建設される予定です。

新病院コンセプト

- 1 整形外科と内科が融合した健康寿命の拡大のための診療を目指します
- 2 感染に強い病院を建設します。



■工事スケジュール

- 第一期: 外来棟 兼 仮入院棟 新築 2023年度竣工予定
- 第二期: 120床の入院棟 新築 2024年度竣工予定
- 第三期: 外来棟(病床機能戻す)改修 2025年度竣工予定

新病院の情報は、ホームページをご確認ください。

さいわい鶴見病院WEBサイト
<https://tsurumihp.jp/>



私の街紹介

カワスイ 川崎水族館

カワスイ 川崎水族館は、2020年7月17日にJR川崎駅東口に隣接する「川崎ルフロン」9・10階にオープンをした川崎市初の水族館です。

「世界の水辺を冒険しよう」をコンセプトに、川崎市を流れる多摩川からオセアニア・アジア、アフリカ、南アメリカ、米アマゾンの熱帯雨林まで、世界の様々な環境に暮らす生きものを最先端の技術を使って展示し、約70個の水槽約300種(植物を除く)の生きものを鑑賞することができます。また特別企画展やイベントの定期的な開催や『今できることを、できるかぎり』をテーマに地球環境に少しでもプラスになるアクションにも取り組んでいます。

これからも水辺から川崎、そして地球を見つめ、みなさんが地球環境の尊さや、環境を守るためにできることについて考えるきっかけとなる水族館を目指します。



アマゾンゾーン水槽



夜のパンタナルエリア



チケットカウンター

【施設情報】

施設名: カワスイ 川崎水族館
 所在地: 川崎市川崎区日進町1-11
 営業時間: 10:00~20:00 (最終入館19:00)
 ※営業時間に変更となる場合がございます。詳しくは下記WEBサイトをご確認ください。
 WEBサイト: <https://kawa-sui.com/>



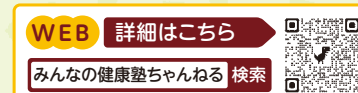
病院がつくった健康情報サイト

みんなの健康塾ちゃんねる

「みんなの健康塾ちゃんねる」情報

みんなの健康塾ちゃんねるは、地域の皆さんの健康維持・増進、疾病の早期発見・早期治療に役立てていただけるよう、また医療を身近に感じていただくことを目的に、健康・医療の情報発信をしております。

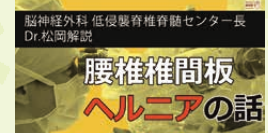
WEBサイトでは動画の他、トレーニングやレシピを掲載した冊子、学校向けダウンロード教材をご覧ください。また紙媒体で毎月「みんなの健康塾ちゃんねるポケット版」を定期的に発行しております。



注目のコンテンツ



監修: 川崎幸病院、さいわい鶴見病院、川崎幸クリニック、川崎クリニック・管理栄養士



川崎幸病院 脳神経外科部長 / 低侵襲脊椎センター長 松岡 秀典 医師



川崎幸病院 循環器内科主任部長 / 川崎心臓病センター副センター長 桃原 哲也 医師